



2025年3月31日

各位

会社名 株式会社 東京ソワール
代表者名 代表取締役社長 小泉 純一
(コード番号 8040 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役上席執行役員経営企画本部長 大島 和俊
(TEL. 03-6372-6712)

上場維持基準への適合に向けた計画について

当社は、2024年12月31日時点において、スタンダード市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準への適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間について

当社は、2024年12月31日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準に適合しておりません。当社は、流通株式時価総額に関して2026年12月末までに上場維持基準に適合するために、下記の取組みを進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況 (基準日時点)	1,578人	12,859単位	992百万円	33.3%
上場維持基準	400人	2,000単位	1,000百万円	25.0%
計画書に記載の項目			○	
計画期間			2026年12月末	

※ 当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針

当社は、持続的な成長に向けた事業領域の拡大と収益力の向上を図り、業績に応じた株主還元の実施やIR活動の強化等により、株価（企業価値）を向上させ、流通株式時価総額の上場維持基準への適合に取り組むことを基本方針といたします。

3. 上場維持基準の適合に向けた課題及び取組内容

(1) 課題

流通株式時価総額が基準値を下回っている理由につきましては、当社の事業内容や成長戦略及び株主還元方針などの理解を深めるための情報発信が十分でなかったことにより、市場における認知度や期待度が低迷していることが主な要因であると認識しております。

(2) 取組内容

①企業価値の向上

当社グループは、2027年度を最終年度とする中期経営計画において、「ウェルビーイングな商品・購入体験の拡充」を目標に、挑戦と変革に取り組み、「事業領域の拡大」を図ってまいります。

フォーマル事業では、冠婚葬祭に限らない、人生の節目となる全てのライフイベントを「フォーマルライフ」と定義し、「フォーマルライフのリーディングカンパニー」を目指してまいります。また、ライフスタイル事業では、ターゲットの拡大、新規出店およびサービスの拡充により、「顧客接点の強化」を推し進めてまいります。加えて、サステナブル経営の実践やコーポレートブランドの浸透（アウトブランディング）などを含む「事業基盤の整備（環境変化への対応）」と資本コストや株価を意識した経営の実現をはじめとする「効率化の追求（稼ぐ力の強化）」に取り組んでまいります。

②IR活動の強化

当社は、適時開示以外にも、当社の事業内容や成長戦略への理解を深めるためのIR活動を推進し、サステナビリティなどの非財務情報を含めた情報発信について一層の充実を図ってまいります。

また、投資家へ向けた企業情報の開示や外部機関によるIRレポートを活用し投資家との対話機会の拡充を図り、それらの対話を成長戦略に活用してまいります。

③株主還元方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要政策のひとつと位置付けております。利益配分につきましては、財務状況や期間損益などを総合的に勘案したうえで決定しており、内部留保につきましては、財務体質の強化を図ることで持続的な成長に向けた投資を進め、企業価値の向上に努めてまいります。

2024年12月期の期末配当については、1株につき45円、2025年12月期の期末配当予想についても45円を計画しており、配当性向40%以上を目安とし、株主優待の拡充も含めて株主還元の充実及び資本効率の向上を意識した経営を実施してまいります。

以 上